

令和5年度市民と議会との懇談会（分野別）実施報告書

【教育民生常任委員会】

1. テーマ

遠野市老人クラブ連合会から、老人クラブの活動状況と課題について教育民生常任委員との意見交換の申し出があったことから、遠野市議会基本条例第7条（市民との懇談会）及び市民との懇談会開催要綱に基づき意見交換を行ったもの。

2. 開催日時

令和6年1月24日（水）午後1時30分から

3. 開催場所

遠野市役所 3階大会議室

4. 参加者

遠野市老人クラブ連合会理事

会長 中浜 清輝、副会長 佐々木 義夫

理事 昆 覚、菊池 祥子、杉山 健太郎、佐々木 正嗣、佐々木 秀行

照井 文雄、奥友 正範、菊池 久男、留場 栄一、荒川 容子

事務局長 菅原 ツヤ子

5. 遠野市議会議員の体制

教育民生常任委員会 委員長 佐々木 恵美子、副委員長 昆 明美

委員 菊池 美也、瀧本 孝一、新田 勝見

6. 意見交換内容

初めに、遠野市老人クラブ連合会 中浜会長のあいさつに続き、遠野市老人クラブ連合会 菅原事務局長から令和5年度活動報告、令和6年度活動計画の説明があり、理事が所属している、各地区老人クラブの現状や活動状況を踏まえて意見交換した。

■意見交換会で出された内容（抜粋）

【現状】…理事から各町の活動なども報告あり。

- ・老人クラブ数は、令和元年64から令和5年55と11団体が減少している。
- ・老人クラブ会員数は、令和元年2,350人から令和5年1,827人と大きく減少している。
- ・老人クラブ連合会の活動は5月にペタンク大会、6月にグラウンドゴルフ大会、7月には、さわやかスポーツ大会（市主催）、11月にはシルバー文化祭展示部門、舞台部門など、ほぼ毎月積極的に活動している。
- ・行政区再編による単位クラブの解散などあった。
- ・単位クラブへの補助金は11名以上で、会員数が減少したことで解散する単位クラブもある。
- ・一方で行政区の統合で単位クラブは解散したが、一部の会員は別の単位クラブで活動を続けている例もある。
- ・補助金が会員数に応じて割り当てられており、会員数が減ると補助金も減るため、行事を行うことが難しくなる。会員数の減少は補助金の減少につながり、大きな問題と

なっている。

- ・老人クラブの会費については各クラブで違うが、概ね年会費が1,500円。夫婦の場合は一人が1,500円、もう一人が1,000円。あとは80歳とか90歳以上からは頂かないという例が多い。会費の徴収額は各単位クラブに任せられている。
- ・スポーツ大会などへの参加費は一人300円など。
- ・会員数の増加やクラブの存続を実現するための支援が必要である。
- ・会員が高齢化しているので、移動手段の確保も必要である。
- ・婦人会の活動も低迷しているため、老人クラブ女性部での活動や、老人クラブとの協力も必要。
- ・小正月行事において、婦人会が無いことから更生保護女性の会の協力で実施した。
- ・以前、老人クラブは地域の活性化の一翼を担い、子供たちと一緒にしめ縄飾りや草履作り、みずき団子作りなどの行事にも参加していたが、子供たちの減少もあり、老人クラブの活動も減ってきている。
- ・自治会の役員に老人クラブや婦人部の人々が参加していないので、地区全体の活動が見えないという課題もある。
- ・会員数は高齢化により減少しており、新たな会員を増やすために、地域の活動を広める努力が必要。
- ・現在は60歳を過ぎて、70歳位まで働いているので、老人クラブ会員になるのも難しい現状である。

【委員からの意見】

- ・先ほど言いましたけれども、老人クラブは60歳とか65歳という区切があるんですが、この活動自体を50歳、45歳あたりから続けてもらえれば自然に会員になっていく可能性もあります。もう一つは呼び名です。他から来た方に老人クラブに入りませんかと言うと、老人という言葉は好きじゃないんだよと、はっきり言った方がおりました。ぜひ老人クラブという名前を変えて、もっと楽しいクラブにしていただければと思います。さっきも言いましたがボードレスの時代ですから、男も女も子供もみんな入ってやれるんだよというような仕組みを作ったらもっといいんじゃないかなと思います。
- ・それぞれ単位クラブさんで工夫なさって運営をしていると理解をさせていただきました。これからの老人クラブのあり方といいますか、一つは名称で老人というイメージを払拭するような名称がいいのではないかなという部分があります。それから、今の時代ですからSNS、老人クラブさんのホームページとかもあっても良いのかと思います。
- ・老人クラブさんは他の他団体と一緒に取り組まれているという様子もありますので、そこをもっと活発にされてもいいのかなと思います。また、自分の地区では20代の組織ができる予定があります。いろんな世代と老人クラブさんの組織とか、他団体と一緒に、若い世代が担っていくような仕組み作りを、やって行きたいと思っておりますので、その取り組み、結果も今後、お伝えしていきたいなと思います。

- ・今どうか人生 100 歳時代ですので、人生の先輩の皆様方の前で立派なことは言えないんですけども、ぜひ皆さんに生き生きとした活動を見せていただきた。今 65 歳 70 歳までも仕事できる時代になりました。私も仕事が一段落したら、このような活動をしていきたい心の底から思います。これからも私達にご指導にいただき、いつまでも元気で活動していただきたと思います。
- ・老人クラブは毎月活動しているというのを確認させていただきました。その活動を知らない方も多いたと思います。老人クラブの単位クラブなり連合会の活動がどういったものを行っているのか、知ってもらうてのが、スタートだと思いた。活動を日頃からお伝えしていくことが大事じゃないかなと思いた。皆さん自身が楽しくない会に、新入会員さん入らないと思いたので、現会員の皆さんが楽しく、生き生きと活動をしてもらえれば良いと感じました。

■意見交換を踏まえて（中浜会長から）

- ・老人クラブの老人という名称をどうするか、いつも出ます。この話題は、まだ結論がでないというようなところもございたすが、引き続き考えていきたと思いた。SNS やインターネット等で発信することということのお話もありました。議会の方は昨年から、インターネットで一般質問が配信されています。我々も時々、見ながら、議員さんたちが頑張っているということを知っています。本当に議員さん、いろんなことを勉強しておられるんだなということがよくわかります。議会だよりもとても見やすくなつたと思いた。それから、楽しい会をという、お話もございた。結構楽しくやっているつもりですが、今後も、いろいろなことが楽しく出来るように、考えていきたと思いた。本当に今日はありがとうございました。これを機会に、理事の皆さんとも相談しながら、来年の 1 月とかに各町老連の会員が 2 名くらい参加するような形で、また議員さんたちとのお話し合いを持てたらいいかなと思いた。

7. まとめ

- ・老人クラブの活動は、地域活動の活性化に寄与するものと思われるが、会員数の減少が大きな課題である。教育民生常任委員会として、老人クラブ現状に注視していきた。今般の意見交換会は大変有意義であつた。以上報告します。

令和5年度市民と議会との懇談会（分野別）実施報告書（資料）

【教育民生常任委員会】

中浜会長



全 体



全 体



教育民生常任委員

